

有法子・マルチサイエンスⅠ・Ⅱ 活動全般ルーブリック

- ・ルーブリックをもとにTeamsに得点を入力し、コメントを具体的に記入すること。
- ・このシートは担任・マルチ担当者に提出後、返却されたら、ファイルに綴っておくこと。

3つの資質 ・能力 (上位観点)	8つの資質 ・能力 (下位観点)	求めているレベルを超えて達成している 5点	求めているレベルをおおむね達成している 4点・3点	求めているレベルを達成するには大きな課題がある 2点	各項目5 点満点
研究に向 かうベー シック マインド (A)	サイエンス リテラシー	実験や調査が適切な方法で実施されており、結果を基に客観的な考察ができてい る。	実験や調査がおおむね適切な方法で実施 されているが、考察に一部主観的なもの が含まれる。	実験や調査が適切な方法で実施されず、 考察の多くが主観的である。	
	グローバル マインド	研究テーマと地域の課題との関係性を SDG sの視点から理解し、その解決に 向けて継続的に取り組んでいる。	研究テーマと地域の課題との関係性を SDG sの視点からおおむね理解できて おり、その解決に向けて取り組もうとし ている。	研究テーマと地域の課題との関係性を SDG sの視点からの理解に乏しく、そ の解決に向けての取組も積極的でない。	
	イノベー ションマイ ンド	多方面からアイデアが提案され、それら が研究内容に反映されている。	アイデアを出そうとする姿勢があり、そ れらをもとに研究を推進しようとしてい る。	アイデアを出すことに積極的でなく、研 究を推進するまでには至っていない。	
科学的に 探究する 力 (B)	課題発見力	研究に必要な情報や先行研究に関する情 報を積極的に集め、具体的な課題や研究 目的が設定できている。	研究に必要な情報や先行研究に関する情 報をある程度集め、それらを基に課題や 研究目的がおおむね設定できている。	研究に必要な情報や先行研究に関する情 報を十分に集められず、課題の発見や研 究目的の設定が具体的ではない。	
	研究構想力	実験や調査方法などの研究計画が適切に 立てられ、研究目的が十分に達成されて いる。	実験や調査方法などの研究計画がおおむ ね適切に立てられており、研究目的の達 成につなげようとしている。	実験や調査方法などの研究計画が十分で なく、研究目的の達成につなげることが 困難である。	
	研究実践力	新しい知見が得られるなど、研究成果が 十分に生み出され、粘り強く課題研究に 取り組んでいる。	新しい知見が得られるなど、研究成果を 生み出すまでには至っていないが、粘り 強く課題研究に取り組んでいる。	新しい知見が得られるなど、研究成果を 生み出すまでには至っておらず、課題研 究への取組も積極的ではない。	
他者と協 働する力 (C)	チームワー クカ	研究の方向性を班内で常に共有し、役割 分担を適切に行って活動している。	研究の方向性を班内でおおむね共有した 上で役割分担を行い、活動に取り組もう としている。	研究の方向性を班内で共有できておら ず、班内の連携が十分でない。	
	コミュニ ケーション 力	相手に伝わりやすい表現を心掛けて研究 発表に取り組み、質問に対して適切な応 答ができています。	手元に用意した原稿に頼らず自分の言葉 で発表し、質問に対してもおおむね適切 な応答ができています。	手元に用意した原稿に頼って発表し、質 問に対しても適切な応答には至ってい ない。	
コメント				検印	合計
() 組 () 番・氏名 ()					